



物の設定の仕方を捉えられるように、まずは作品や文章を何度も読むことが必要だと考えられます。これらに全教科で重点的に取り組んでいきます。無回答率は平均して少ない傾向にあり、あきらめることなく粘り強く取り組んでいることが分かります。しかし、「表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明すること」の設定については、無回答率が15%を超えているので、記述式の問題形式についても授業で今まで以上に多く取り入れ重点的に取り組んでいく必要があります。

#### [数学]

数学は、単純に計算するだけでなく、図や表からわかることを読み取り、判断の理由を数学的に説明したり、事柄が成り立つ理由を説明したりする問題が多く出題されていました。本校は、関数を用いて数学的に表現したことを事象に即して解釈したり、数量の関係を捉え説明したりする問題について全国の平均正答率を大きく上回りました。日々の授業の中で理由を説明させる場面設定を多く取り入れるよう意識し、大切にしてきた結果だと考えられます。しかし、考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の四則計算ができていくかどうかをみる問題は、全国の平均正答率を下回りました。また、数学的な表現を用いて説明したり証明したりするような記述式の問題は無回答率が高い傾向にあります。数学の授業では、理由を説明させる場面設定を多く取り入れてきましたが、事象の対象を捉えることができているか確認する場面や、数学用語を使って問題解決の方法を説明することができるよう、継続して取り組む必要があると考えられます。

6 次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいたものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかっている辺の両隣の○に入れた整数の和が入ります。

図1

計算の例

3つの○に1、3、6を入れると  
3つの□にはそれぞれ  
1+3、3+6、6+1  
の計算結果が入る。  
だから、3つの□には4、9、7  
が入る。

図2

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 下の図の□に入る整数を求めなさい。

#### 「質問紙調査」の結果

生徒質問紙は、生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動への問いがあります。「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して生徒91.7%（全国比+0.5）が「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」と回答しています。また「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に対して91.7%（全国比+11）、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して100%（全国比+7.5）の生徒が肯定的に回答しており、多くの生徒が基本的な生活習慣が身につけていることがわかりました。また、「将来の夢や

目標を持っていますか」という質問に対しては 83.4%（全国比+17.1%）が肯定的な回答をしており、「自分には、よいところがあると思いますか」では 87.5%（全国比+4.2%）、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」には 95.9%（全国比+5.5%）となっていて、自分の良いところを捉えながら、将来について考えることができている生徒が多くいるという結果が見られました。

学習の取り組みについては、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に対して 83.3%（全国比+7.1%）の生徒が肯定的な回答をし、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という質問に対して 62.5%（全国比+16.4）の生徒が「当てはまる」という回答をし、協働的に学ぶ姿勢が身につけているという結果が見られました。また「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて」の項目では「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」「楽しみながら学習を進めることができる」「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」のいずれの質問においても肯定的な意見が多く、ICT 機器の活用についてよい意見を持っている生徒が多くいることがわかりました。しかし「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）」という質問に対しては、1時間以上の生徒が 8.3%（全国比-8.3）と少なく、家庭学習の中で ICT 機器を活用できている生徒が少ないことがわかりました。また、家庭学習においては「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に「1時間以上」と回答した生徒が 49.9%（全国比-14.4%）、休日では「2時間以上」と回答した生徒が 24.9%（全国比-11.3%）と少なく、家庭学習の少なさが心配な点として挙げられます。また「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」では「2時間以上」の割合が 58.3%（全国比+9.4）と高く、ICT 機器を家庭学習にもっと活用できるように、ご家庭とも協力していきたいと思えます。

飯南中学校区では地域、保護者と連携して、対話力・発信力・追究力・想像力を持った子どもたちにつけるために取り組みを進めています。今後も「あしやまタイム」の活動などを通して、地域の方などに関わることで自分のことだけではなく、地域や周りのことを考えられるようになってもらいたいと思えます。また計画的に「あしやまタイム」の探究を進めることで、家庭学習においても進路に向かって進めていく中で学習時間を取り、希望する進路を実現する力をつけられるように頑張りたいと思えます。